



まつもと じゅん

# 松本純

中区・磯子区・金沢区  
まちかど  
政治瓦版



令和6年8月1日号  
発行

**自民党**  
神奈川県支部  
発行責任者  
平木 茂

8月号  
2024年  
No.257

松本純ホームページ▶<https://jun.or.jp/>

ご意見箱▶[opinionbox@jun.or.jp](mailto:opinionbox@jun.or.jp)

## 「学生たちに伝えたい！」母校、東京薬科大で特別授業

### 社会保障・医療制度の未来へ 国民が安心して生きるための国の礎を守る！



客員教授として学生たちとの交流を大事にする松本純



令和6年6月29日、私の母校であり、客員教授を拝命している東京薬科大学特別授業で講義しました。

これは私の信念である「国民皆保険制度の堅持」を若い学生たちに繋いでゆくためであり、私の知見をお伝えする機会でもありました。

**世界中見渡しても、日本の様に「誰でも、何時でも、どこの医療機関でも」医療を受けられる国はないと言っても過言ではありません。**

これは日本の先人たちが知恵を絞って作り上げた英知の結晶ともいえます。しかし、今の社会保障制度や医療制度に問題がないわけではありません。同時に、それには継続のための努力と改善が必要でもあります。

学生たちに、まず、私がなぜ薬剤師として社会貢献しようとしたのか、またその夢が、横浜市の都市構想による東急東横線の横浜駅～桜木町駅間廃線で野毛存亡の危機とともに失われようとしていたと話しました。さらにそれをきっかけに政治の必要性を感じ、政治家になった話からスタートしました。あつて当たり前と考えている医療(国民皆保険制度)・年金・介護などの社会保障、これは政治が作り出したものであり、国民が安心して生きてゆくうえで最も大切な基盤です。まさに日本という国の礎となるものです。

数多くのデータを基に今の社会保障制度と医療制度を解説し、その上で給付と負担のバランスについて述べました。学生たちは皆真剣に私の話を聞いてくれ、私も学生たちの学ぶ姿勢に大変刺激を受けました。その後の質疑応答では、病院薬剤師(調剤薬局ではなく病院内の薬剤師)の問題や薬剤師不足の問題、少子高齢化に伴う医療費の自然増問題など、今現実にある問題について質問を受け、それに真摯にお答えしました。また、同時に若者達が真剣に未来を考えていることに大きな感銘を受けました。

特別授業を通じて、改めて若者たちとの交流の重要性と日本という国家を繋いでゆくために何ができるか考えさせられました。是非、私をどこかで見かけたら、気軽に声をかけてください。そして、困っていることがあれば気軽に私にお伝えください。現場の声が大切です。誰からも分け隔てなく話をお聞きする、それは松本純のポリシーであり、政治家として必要な生き方だと考えています。

【特別授業の参考資料とコメント】→<https://jun.or.jp/report/2024/20240629-ToyakuTokubetsuJugyo.pptx>  
(上記を開き、画面下部の「ノート」をクリックするとコメントが表示されます)

いま地域で  
(ひと・まち・出来事)

「金沢区の防災、防犯、健康等の情報交換の場に！」金沢区自助連絡協議会

(株)オルフィックデザイン(金沢区東朝比奈) 代表取締役 **小林英生さん**



小林英生さん (金沢シーサイドFMスタジオにて)

小林さんは金沢シーサイドFM(周波数85.5MHz)の番組『自助カナ!!』でパーソナリティを務めています。自然災害が起こった際にどうすれば良いかなどを具体的に考える番組で、松本純も元国家公安委員会委員長・元防災担当大臣として出演しました。

この番組を通じ、金沢区内の多くの方々が防災、防犯、健康等、様々な取り組みを行っていることを知った小林さんは、それならば同じ区内に、お互いの情報を共有し、伝え合える場があれば、安心感と災害対策のレベルアップに繋がるのでは、と「金沢区自助連絡協議会」を立ち上げたと言います。

協議会には自治会町内会や団体をはじめとする地域住民と『かなざわ強助隊』※の賛同者が参加されています。小林さんは「皆でふれあい、心寄せ合い、紡ぎ合って、誰もが安全に健康に笑って暮らせる金沢区の未来を積み上げていきたいと思います」と思いを語ってくれました。小林さんの活躍に期待しています。

※『かなざわ強助隊』：災害時協力事業所制度(金沢区役所登録)でそれぞれの事業所が持つ資格や技術を生かした応急活動支援団体

【2024年 7月】

松本純の活動記録

- 3日 ● 令和6年度野毛柳通り会総会・懇親会  
● 神奈川県防衛協会定時総会  
● 金沢消防団第6分団激励
- 8日 ● 全国子ども会連合会説明
- 9日 ● 鈴木太郎君の横浜市会議長就任を祝う会
- 10日 ● 富澤慎選手(セーリング日本代表)パリ五輪応援壮行会  
● 神奈川県薬剤師連盟令和6年度第3回常任総務会

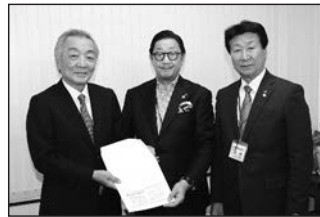
- 14日 ● 洋光台6丁目西自治会夏祭り(子供神輿・演芸・模擬店)
- 16日 ● JUN CLUB 定例会
- 17日 ● 金沢青少年交通安全連絡協議会定時総会・懇親会
- 20日 ● 洋光台北団地一街区自治会夏祭り  
● 第5回夕涼みふれあい祭り
- 五町内合同納涼盆踊り大会2024
- 23日 ● 第6回横浜ビジネス研究会



7/6 野島神社夏季例大祭宵宮(野島・乙船)神輿渡御●夏季祭礼が行われ、野島町内会・大沼真人会長にお慶びを申し上げます。皆さんが神輿渡御に出発された後、乙船町内会館にお祝いに伺いました。



7/7 赤英町内会BBQ●森下茂会長のご案内のBBQ、夏空の下、皆さん焼き肉や流しそうめんなどを楽しまれました。町内を盛り上げる若手の方々をはじめ、地域の皆様から熱い応援のお言葉を数多くいただきました。



7/11 日本薬剤師連盟会長・副会長と面談●新体制がスタートした日本薬剤師会及び連盟の岩月進会長と丹羽松弘連盟副会長が来訪され、薬剤師会の抱える各種課題と会長の今後の夢についてお話を伺いました。



7/20 磯子区薬剤師会総会・懇親会●阿波谷幸久会長の開会挨拶に続いて、松本純も薬剤師の現状と国政状況についてご報告しました。総会の議事案件が滞りなく了承された後、和やかな懇親会へとつづりました。

永田町日記

「自民党総裁選挙」、注目を集める麻生派の動き

自民党総裁選挙が9月下旬頃に予定されています。与党第一党の自民党の総裁選挙は、事実上、次の総理を選ぶ選挙であり、自民党員が政治に直接参加できる数少ない機会となります。総裁選挙では、国会議員の票と全国の自民党員の算定票の合計で過半数を得票した候補が当選者となります。過半数を得た候補がない場合は、上位2名で決選投票が行われる仕組みです。

自民党で唯一存続している政策集団・麻生派の持つ意義は非常に大きく、ここでその役割を果たせるかが重要となります。政治資金の問題で麻生派以外の派閥は解散しました。しかし、これは派閥そのものが悪いのではなく、不適切な政治資金の扱いをしていた派閥があったことが問題でした。同じ意思を持つ人が集まれば必ず派閥ができ、その意思の実現を目指します。松本純は事務局長として麻生派を束ねてきました。今回の総裁選においても、政策集団としての意志を示すことは重要だと考えています。



2021年、自民党総裁選の立候補者たち